

令和元年度

烏山北小学校 校内研究

専科分科会 提案授業

教科：音楽

5月31日（金）

授業者：大家昌子

1 研究主題

(1) 研究主題

「世田谷9年教育」研究開発 CM（カリキュラム・マネジメント）スクール

これからの社会を生き抜く児童の育成

～

～

(2) 目指す児童像

	主体的な力	かかわる力	考える力
低学年			
中学年			
高学年	自らすすんで学び、生活に生かそうとする子。	相手の話を最後まで聞き、友達のよさを認め合う子。	友達の意見を取り入れ、考えを深める子。
専科	学習を他教科・他領域に生かし、すすんで活動にかかわる子。	表現のよさや違いを、認め合う子。	さらによい表現はないか探究を続ける子。

2 協議会で話し合うこと

(1) カリマネの基礎研究 「気付いてつなぐ」授業デザインについて。

(2) その他

《画用紙》 分科会で話し合いながら書き、ホワイトボードへ！ 青：成果／黄色：質問／ピンク：

1 題材の目標

- 音楽の仕組みや要素を取り入れて、ストーリーにふさわしい音楽をつくる技能を身に付ける。
- 楽曲を特徴づける音楽の要素を聴き取りそのよさを感じ取り、それを音楽づくりに生かして、どのように表現したらいいか思いや意図をもつ。
- 関連する学習を生かしてつくり出す音楽を工夫して表現する学習に主体的に取り組む。

2 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
①歌劇「魔笛」パパゲーノとパパゲーナの二重唱の冒頭部分の「呼びかけとこたえ」や「声の重なり」を理解している。	①歌劇「魔笛」パパゲーノとパパゲーナの二重唱の「呼びかけとこたえ」や「声の重なり」の面白さを感じ取って聴いている。	①社会科の学習で得た知識を、ボイスアンサンブルの素材づくりに生かし、友達と意見を交流しながら楽しんでる。
②リズムパターンの特徴を生かしながらストーリーにふさわしい速度や強弱や声の重なり、呼びかけとこたえなどを活用して、ボイスアンサンブルをしている。	②リズムパターンの重ね方の工夫によって変化する表現を工夫して、ストーリーに合う演奏について、どのような音楽の仕組みや要素を活用したらよいか思いや意図をもっている。	②歌劇「魔笛」パパゲーノとパパゲーナの二重唱から実感した音楽の仕組みや要素を活用しながら、友達と声を重ね合わせて音楽づくりに主体的に取り組んでいる。

3 題材について

(1) 題材設定

- ・小学校学習指導要領解説音楽編学年の目標 [P16~19]、第3学年及び第4学年の目標及び内容(3)ア(イ) [P73~74]、イ(イ) [P75~76]、ウ(イ)に関連付けて設定した。
- ・「であろう→ためす・広げる→まとめる」で展開する。

(2) 伸ばしたい資質・能力

- ・表現のもとになる音楽的な理由をもって活動し、友達と考えを共有できる。
- ・表現したい思いをもち、見通しをもって活動できる。
- ・学びを発展させ、その経験を今後の活動に生かすことができる。

4 カリマネ Point (本題材についての音楽科からのカリマネ的関連項目)

縦断的カリ	既習	第3学年「まほうの音づくり」・「おはやしのせんりつをつくろう」
	同学年	第4学年「沖縄音階をつかった旋律づくり」
	他学年	第5学年「日本風の旋律をつくろう」(5音階の活用)
	異校種	参考※(平成29年度総則 P285~290) 中学校指導要領A表現(3)創作の活動
横断的カリ	総合・生活	第2学年「まちたんけん」
	社会	第3学年「烏山の様子」・「世田谷の様子」
	図工	第4学年「みんなで オン・ステージ」
	道徳	参考※(平成29年度総則 P165~P172) 特別の教科道徳「相互理解・寛容」
	他教科(日本語)	第3学年「世田谷区の地名由来」

4 題材の指導計画

- 第1時：第3学年社会科の学習から「ことばあつめ」・基本リズムの理解と素材づくり
 第2時：「ことば」決めとストーリーづくり、基本リズムの応用
 第3時：鑑賞による音楽の要素の理解と「ことば」によるリズムあそび（即興的な音楽づくり）
 第4時：音楽の諸要素を活用した、ストーリーに合う音楽づくり
 第5時：演奏発表と他グループの演奏鑑賞による演奏の工夫やよさの共有

5 一単位時間の指導 **第1時**（全5時間）

- (1) ねらい
 ・「ことばあつめ」と「基本リズムの理解」でボイスアンサンブルの素材をつくる。
 (2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料他																					
であう	① 10分	<p>【全体】→【グループ】→【全体】</p> <p>○簡単なリズムアンサンブルを体験する。 ・手拍子、足踏みなどを使って音色の違うリズムパターンでその重なりを確認して楽しむ。</p>	<p>★いくつかのリズムパターンが重なりながら増えていく面白さが感じ取れる素材を用意する。 ■リズム譜の板書</p>																					
ボイスアンサンブルのもとをつくろう1																								
ためす・広げる	② ① 15分	<p>【個人】→【フリー】→【全体】</p> <p>○「ことばあつめ」のルールを確認して、4文字で構成するせたがやに関わる学習で印象に残ったことばを集める。</p> <p><せたがやの学習で印象に残っていることば></p> <table border="0"> <tr> <td>・こうつう</td> <td>・とどろき</td> <td>・こまつな</td> </tr> <tr> <td>・たまでん</td> <td>・からきた</td> <td>・にんじん</td> </tr> <tr> <td>・かんなな</td> <td>・たまがわ</td> <td>・だいこん</td> </tr> <tr> <td>・かんぱち</td> <td>・あんぜん</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・でらまち</td> <td>・けいこく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ぼろいち</td> <td>・おまつり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・さぎそう</td> <td>・けんがく</td> <td></td> </tr> </table> <p><ルールに合わないが印象に残っていることば></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うめまつり ・スーパー ・しゃかいかけんがく ・とどろきけいこく ・くほんぶつ 	・こうつう	・とどろき	・こまつな	・たまでん	・からきた	・にんじん	・かんなな	・たまがわ	・だいこん	・かんぱち	・あんぜん		・でらまち	・けいこく		・ぼろいち	・おまつり		・さぎそう	・けんがく		<p>■ワークシート、せたがやかるた、わたしたちのせたがや、3年時のノート・資料など</p> <p>★早く書いた児童は挙手で知らせ、互いにアイコンタクトをして移動し集めたことばを紹介し合うようにする。 ★ことばあつめが進まない児童にはアイデアお助け隊を呼んで交流できるようにする。</p>
・こうつう	・とどろき	・こまつな																						
・たまでん	・からきた	・にんじん																						
・かんなな	・たまがわ	・だいこん																						
・かんぱち	・あんぜん																							
・でらまち	・けいこく																							
・ぼろいち	・おまつり																							
・さぎそう	・けんがく																							
	② ② 15分	<p>○ボイスアンサンブルで使う基本リズムと使い方を理解する。</p> <p>・①のリズムをもとにするとリズムの入り方が分かりやすかった ・「おすすめのことば」をリズムにのせてみたらおもしろかった</p>	<p>■①から④のリズム譜の掲示 ★リズム譜を示しながら範唱する。</p>																					
まとめる	③ 5分	<p>【個人】→【全体】</p> <p>○「おすすめのことば」を選んだ理由をワークシートに書いて友達と共有する。 ・社会科見学の時に初めて知って驚いたから ・世田谷で古くから伝わる行事だから</p>	<p>★「おすすめのことば」を選んだ理由を共有することで次時のストーリーづくりのヒントになる内容を示しておく。</p>																					

第2時 (全5時間)

(1) ねらい

- ・「ストーリーづくり」と「基本リズムの応用」でボイスアンサンブルの素材をつくる。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料他
であう	① 10分	<p>【全体】→【グループ】→【全体】</p> <p>○4つのリズムパターンをリズム打ちした後、前時で選んだ「おすすめのことば」を①から④のリズムに合わせて体験する。</p>	<p>■リズム譜の掲示</p> <p>★拍を感じ取りながらリズムを打てるように示す。</p>
ボイスアンサンブルのもとをつくろう2			
ためす	② ① 20分	<p>【全体】→【グループ】</p> <p>○「ことばあつめ」から全員の★おすすめのことばを紹介し、みんなで取り組みたいことばを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数決で？ ・グループの人数は？ ・リーダーは何をするの？ <p>○グループに分かれて、ことばのストーリーを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」は夏の風景がいいから、元気な感じではじめたい ・「なか」のところは、「川がながれていました。」より「大きな川が流れていました。」がいい、みんなを合わせるところをつくりたい。 ・「なか」のところは花火があがるところをいれたい、にぎやかなリズムになるようにしたい ・まとまらない、でてこない ・飛躍しすぎてしまう <p>○それぞれのグループのストーリーの途中経過を確認する。</p>	<p>★パートの担当のバランスや演奏にふさわしい人数などを説明する。</p> <p>★ボイスアンサンブルで活用しにくい言葉について範唱で確認する。</p> <p>★ストーリーのはじめ、なか、おわりが音楽とどう結びついていくかイメージできるように助言する。</p> <p>■ワークシート、せたがやかるた</p>
	② ② 10分	<p>○基本リズムにグループのことばをあてはめて試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムにのって ・②と④のちがいが難しい ・よくわからない 	<p>■①から④のリズム譜の掲示</p> <p>★リズムの違いが分かるように、基本になる①のリズムをもとに何度かリズムの違いを示す。</p>
まとめる	③ 5分	<p>【グループ】→【全体】</p> <p>○グループごとに①から④のリズムが理解できているか発表し全体で共有する。 (声の重なるの面白さ、難しさ)</p>	<p>★発表した①から④のリズムの組み合わせにさらに次時で学習する音楽の仕組みなどを加えてストーリーに合うボイスアンサンブルをつくることを予告する。</p>

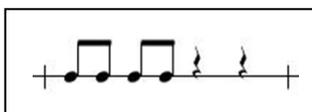
板書計画

めあて ボイスアンサンブルのもとをつくろう

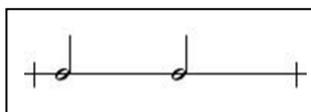
リズムパターン



リズム①



リズム②



リズム③



リズム④

第3時 (全5時間)

(1) ねらい

- ・「呼びかけとこたえ」と「声の重なり」の面白さを理解して工夫に生かすことができる。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料他
であう	① 25分	<p>【全体】→【ペア】→【グループ】→【全体】</p> <p>○声の出し方を工夫して、強弱や速度の変化を体験する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">歌声のおもしろさを見つけてみよう</p> <p>【個人】→【全体】→【ペア】→【全体】</p> <p>○歌劇「魔笛」パパゲーノとパパゲーナの二重唱を鑑賞して「呼びかけとこたえ」と「声の重なり」の面白さに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人で歌っていた ・男の人の声と、女の人の声が聴こえた ・重なっていた ・追いかけていた ・パパパと聴こえた 	<p>★声の違いを示して、模倣しながら自分の声の出し方を感じ取れるようにする。</p> <p>★はじめに①何人で歌っているか②誰が歌っているか③印象に残った言葉は何かの3点を聴き取るように伝えて始める。</p> <p>★鑑賞後に楽曲の背景になるストーリーを伝える。</p> <p>■曲名、登場人物、呼びかけとこたえの部分の図形譜を掲示</p> <p>★パパゲーノ役とパパゲーナ役になって声を聴き取りながら動いて違いを感じ取れるようにする。</p> <p>★「呼びかけとこたえ」や「声の重なり」が楽曲の面白さを創り出していることを伝える。</p>
	② ① 15分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ボイスアンサンブルのもとをためそう</p> <p>【全体】→【グループ】→【全体】</p> <p>○①から④のリズムをグループごとの「ことば」をつかって連続したり、4つのことばを重ねたりしてその響きを実感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つられないよう耳をふさぐ ・負けないように声を張り上げる ・リズムがわからなくなる <p>【ペア】→【グループ】</p> <p>○グループに分かれて①から④のリズムの担当を決め、リズムをみんなで確認し、リズムの組み合わせをいろいろと即興的に試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きい子と小さい子をペアにしよう ・どのリズムがやりたいかで決めよう ・①と④をかさねると響く、③を太い声にすると面白い ・①と④を重ねながら声をだんだん小さくすると遠くに行く様子を表せる <p>○即興的に生まれた音の重なり面白さをストーリーと関連付けて考えて記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重ねながら強くしていくとにぎやかな感じになるね ・途中で静かにするにはひとつのパートだけがいい 	<p>★①から④のリズムを使って、順に重ね合わせながら、拍の取り方や、数え方、音価を実感できるような【全体】⇔【グループ】で交互にリズム変えて何度か試せるようにする。</p> <p>★みんなでリズムを感じ取りやすいように、ペアを工夫するように伝える。</p> <p>■ワークシート、①～④のリズム譜、グループの「ことば」掲示。</p> <p>★即興的に重ねたリズムの組み合わせでストーリーに合う響きがあったらワークシートに記録するようにする。</p>
まとめる	③ 5分	<p>【グループ】→【全体】</p> <p>○即興的に試してみたボイスアンサンブルについて、重なり工夫を見付けて、グループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーの始まりの部分を重ねていきたい ・ストーリーのなかの部分で盛り上がるときに、一番響く組み合わせを使いたい 	<p>★ストーリーに合うボイスアンサンブルをつくるためにいろいろな素材が集まったことを伝える。次時はいよいよボイスアンサンブルをつくることを伝える。</p> <p>■ワークシートにアイデアを記録する。</p>

第4時 (全5時間) 本時

(1) ねらい

- ・音楽の要素や仕組みを取り入れて、ストーリーに合うボイスアンサンブルをつくる。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料他
であう	① 10分	<p>【グループ】→【全体】</p> <p>○前時のふりかえりをし、即興的なリズムの組み合わせから確認できた、面白い響きや重なり方について全体で共有する。</p>	<p>★全体で共有できた面白い響きから、ストーリーにどんな合わせ方をしていくのか簡単な例を示す。</p>
ストーリーに合うボイスアンサンブルをつくろう			
ためす・深める	② ① 10分	<p>【グループ】</p> <p>○ストーリーのはじめ・なか・おわりに合うリズムの組み合わせを考えて、8小節のボイスアンサンブルを考える。</p> <p>・小節1を「はじめ」、小節2～7を「なか」、小節8を「おわり」にしよう</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめが、冬の朝だから小さい声からはじめよう ・小節4と5で盛り上がってにぎやかな感じにしたい ・なかのところはストーリーがさみしくなるところだから、静かな感じがいい ・全員で重ねるところは最後にして元気に終わりたい ・順番に小さくして中で呼びかけとこたえをいれてお話ししているようにしたい ・最後はみんなでそろえて終わりたい ・さみしそうに終わりたい (楽しそうに終わりたい) 	<p>■グループワークシート、リズム構成表、リズム譜の掲示</p> <p>★はじめ・なか・おわりのバランスについて説明。8小節を有効に使うように示す。</p> <p>★組み合わせが決まったらストーリーの様子がよりよくわかるような工夫を加えていくように伝える。</p>
	② ② 20分	<p>【グループ】→【グループ内ペア】→【グループ】→【全体】</p> <p>○グループで考えたボイスアンサンブルを試して修正や工夫を加えながら完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重なるところは声も大きくすると迫力が出るかな ・音楽の記号を書いておこう ・声をそろえたほうがまとまって聴こえる ・よびかけとこたえの声のバランスをよくしたい ・だんだん強くしてだんだん弱くしたい 	<p>■グループワークシート、リズム譜の掲示</p> <p>★活動の途中経過を確認する中で、「よびかけとこたえ」や「強弱」「速度」を使って表現の工夫をしているグループを紹介し、よさを共有する。</p>
まとめる	③ 5分	<p>【グループ】→【全体】</p> <p>○ストーリーに合う8小節のボイスアンサンブルについて感想を出し合い共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい ・もう少し強弱をつけてみたい ・ゆっくり (はやく) はじめたらどうか ・始め方と終わり方ももう少し工夫して完成したい 	<p>★次時は、完成した8小節のボイスアンサンブルの始め方と終わり方の工夫を追加してストーリーが伝わる音楽に仕上げることを伝える。</p>

板書計画

めあて ストーリーに合うボイスアンサンブルをつくろう

	はじめ	1	2	3	4	5	6	7	8	おわり
リズム①										
リズム②										
リズム③										
リズム④										

第5時 (全5時間)

(1) ねらい

- ・始め方と終わり方の工夫をしてボイスアンサンブルを完成させ発表し友達とそのよさを共有する。

(2) 展開

		【学習形態】 ○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料他
ためす・深める	1 10分	<p>【個人】→【グループ】</p> <p>○前時のふりかえりをし、始め方と終わり方の工夫を考えてボイスアンサンブルを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始め方はひとつのパートから始めたい ・始め方はみんなで一斉にはじめたい ・終わりは別のことばをつかってまとめたい ・終わりはどんどん消えていくようにしたい 	<p>★指揮者のいない演奏で、掛け声ではない始まり方や終わり方の工夫を伝え音楽性を高めるようにする。</p> <p>■グループワークシート、リズム構成表、リズム譜の掲示</p>
ボイスアンサンブルを発表しよう			
広げる	2 30分	<p>【グループ】→【全体】</p> <p>○完成したボイスアンサンブルを発表し、友達の発表を聴いて工夫の面白さを感じ取って共有する。</p> <p><発表のふりかえり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーに合うように強弱や速度を工夫できてよかった ・声の出し方を工夫して伝わるように発表した ・もう少し息を合わせるとよかった ・練習の時よりうまく合わせることができた <p><友達の発表から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーが伝わってくるようだった ・強弱がついていた ・よびかけとこたえがあった ・みんなの演奏をひとつの曲にしたい 	<p>★発表に向けてリハーサル→最終ミーティング→本番のタイムテーブルを掲示し準備できるようにする。</p> <p>■グループワークシート、タイムテーブル、ストーリーカードの掲示</p> <p>★4つのことばのストーリーをまとめると小説のような展開になることから、クラスのボイスアンサンブルにまとめてみることもできることを伝える。</p>
まとめる	3 5分	<p>【グループ】→【個人】</p> <p>○音楽の仕組みや要素を使うと表現が広がったり深まったりすることを実感し、歌唱や器楽の演奏にも活用していけることに気付く。</p>	<p>★音楽の仕組みや要素が、音楽をより面白くすることを伝え、歌唱や器楽の学習活動にも生かしていけることや、社会科で学習した知識が素敵なストーリーを生み出し楽曲になったことから、身近な体験や事象が音楽表現の素材になることを伝える。</p>

板書計画

めあて ボイスアンサンブルを発表しよう

*グループの「ことば」と「ストーリー」

--	--	--	--